

取中TM通信



取石中学校は令和6年度から、大阪府のスクールエンパワーメント推進事業『確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校』(市町村が主体となり、それぞれの課題に取り組み、その成果を域内に普及・発信する旗艦校)に指定されており、今年で3年目となります(3年計画で指定)。本年度は、2年間の取り組みを継続し、『生徒たちのより深い学び(学びの深化)』を目指して、チーム取中として、保護者のみなさまのご協力も得ながら、教育活動にいそしんでいく所存です。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

■「TM(確かな学び)」とは？

「確かな学力」とは、知識・技能の習得に加え、それらを活用して主体的に課題を解決する力、学ぶ意欲を含めた「生きる力」の知的側面を指します。

◆文部科学省が定義する「確かな学力」

○基礎的・基本的な知識や技能の習得

- ・学習指導要領に基づいた確実な理解。

・基礎的な読み書き計算だけでなく、その知識が「なぜそうなるのか」という背景まで理解している状態です。
・バラバラの知識が恬として存在するのではなく、自分の中で関連付けられ、整理されていることが大切です。

○思考力・判断力・表現力などの能力

- ・習得した知識を基に、自分で課題を見つけ、主体的に解決する力

・習得した知識を使い、道の課題に対して「どう解決すべきか」を論理的に考え、判断する力です。
・自分の考えを他者にわかりやすく伝えたり、議論を通じて考えを深めたりする力も含まれます。

○学ぶ意欲(主体的に学習に取り組む態度)

- ・自ら学び、よりよく問題を解決しようとする姿勢。

・「もっと知りたい」という好奇心や、粘り強く取り組む態度です。
・学んだことを「社会を良くするためにどう使うか」という論理観や自己調整能力も重視されます。

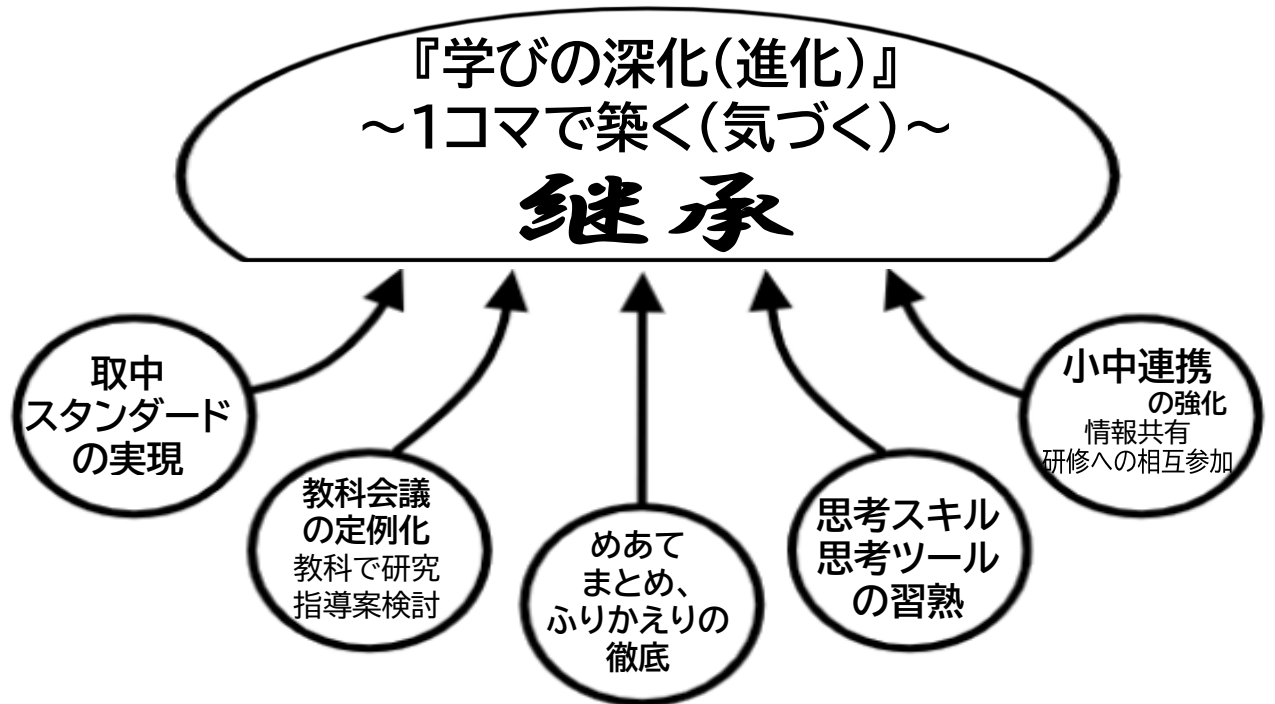
◆従来の学習との違い

	従来の学習 (暗記型)	確かな学び (活用型)
ゴール	テストで良い点(正解)を出す	課題を解決し、価値を創造する
学び方	先生の話静静地に聞く・覚える	対話する・調べる・実践する
知識の状態	一時的な記憶 (忘れやすい)	体系化された知恵 (応用がきく)

一言で言えば、「確かな学び」とは、「知っている(know)」レベルを超えて、「使える・創り出す(Do/Create)レベルへと自分を高めていくプロセスのことです。

■本年度のT.Mのテーマ

『1コマで築く(気づく)』『学びの深化=進化』



○取中スタンダードの実現

【教室環境】

- ・本時の流れの掲示(マグネット)を各教室に配置
- ・タイマーの設置
- ・教室前方に掲示物などを貼らない
棚に目隠し



【授業づくり】

- ・考える授業:思考スキル、思考ツールの活用
- ・思考スキルをめあてに組み込む or 使う思考スキルを提示
+α

○教科会議の定例化

- ・教科会議の頻度:1か月に1回程度
- ・教科会議の日程:1~2週間の期間を指定
- ・教科会議の内容:教科の指導案の検討、学力向上で指定

○めあて、まとめ、ふりかえりの徹底

- ・1コマで築く(気づく)…一コマで完結し、「気づき」が得られる授業

○思考スキル・思考ツールの習熟

- ・教員向けの研修会の実施

○小中連携の強化:情報共有、研修への相互参加

- ・TORI タイム研修(8月6日):中学校区
- ・音楽科:合唱関係で

今後も、適宜更新して参ります。取石中学校の取組みにご理解・ご協力のほど何卒よろしく
願います。